

決算認定議案

決算認定とは、歳入歳出予算の執行の実績である決算について審査し、収入、支出が適法かつ正当に行われたかを確認するものです。9月議会の会期中に、決算特別委員会の設置から議決（決算の認定）までを行いました。決算の認定に関する議案は議案第40号から議案第46号までが該当します。

決算特別委員会

委員長 三木 伸也
副委員長 新井 均
委員 城所美奈子
小谷野五成
成田奈緒子
加藤 将伍
佐藤 真

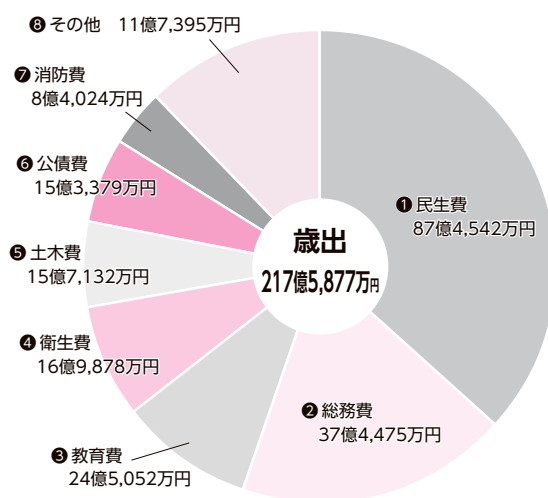
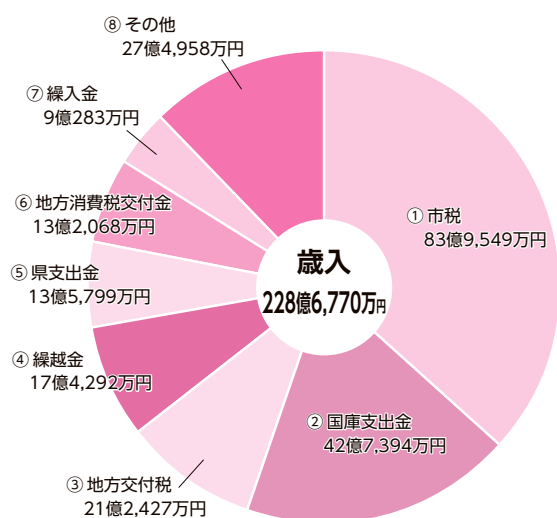
トピックス①

議案第40号

令和5年度日高市一般会計歳入歳出決算の認定について

全員賛成

歳入総額228億6,770万2,403円、歳出総額217億5,877万4,175円、歳入歳出差引額11億892万8,228円である。



委員による主な質疑

- 問 フードパントリーでの食料支援が、8回行われているが、利用人数の動向は。
- 答 各回とも150人の申し込みを上限としているが、いずれも上限いっぱいの方々に対して食料支援を実施した。
- 問 健康教室の内容と効果は。
- 答 ウォーキング教室と、骨粗鬆症・ロコモティブシンドローム予防について栄養と運動に関する教室を開催した。効果として、健康づくりに取り組む意識が向上し、体力の維持向上や自信が持てるようになったという報告があった。この事業等を通じて埼玉県から令和6年度健康長寿優秀市町村表彰の優秀賞を受賞した。
- 問 おでかけ支援事業における乗車運賃の一部補助の利用促進に向けてどのような取り組みをしたのか。
- 答 事業の利便性の向上と利用者負担軽減のために、電子申請届出サービスを導入した。さらに、手続き回数を2回から1回に変更し、負担軽減を図った。
- 問 授業以外でのAETとの学びや触れ合いが、子どもの貴重な国際理解の場となっているが、このような効果をどのように分析されているのか。
- 答 AETの授業時間以外の関わりについては、英語弁論大会の参加者を対象にした対策の指導や、英検3級の1次試験通過者に対し、2次試験の面接対策の指導、留学体験1DAYツアーにおいて、AETが空港スタッフやホテル従業員を演じ、英語におけるコミュニケーションを図った。また、給食時や各行事に参加して、英語によるコミュニケーションで日常的な話題を話すことに慣れる効果があった。
- 問 キャッシュレス決済ポイント還元事業について、市内に設置されたのぼりも目立ち、消費喚起を促す上で大きな盛り上がりを見せる事業であった。市内中小事業者に対する経済効果をどのように評価しているか。
- 答 物価高騰により落ち込んだ市内消費を喚起し、地域経済の活性化を図るため、約1か月実施した。総額2億3,400万円の決済額があり、市内において大変大きな効果があった。
- 問 地方税統一QRコードを利用した納付を開始したが、その成果は。
- 答 全国の共通納税対応金融機関の窓口での納付が可能になったのをはじめ、クレジットカード納付やスマートフォンを利用した納付など納付方法の充実が図られるとともに、利便性も向上した。QRコードを含めた地方共同収納に係る件数は、金融機関等の窓口が、4万4,514件、クレジットカードの納付、スマートフォン決済などが4,148件、合計4万8,662件の取り扱いがあった。